

山寺ふるさと便り =第8号=

宝珠のしずく

題字 後藤仁田(性相院)

発行所 山寺公民館

〒999-3301 山形市山寺517-1
TEL 023-695-2001 FAX 023-695-2164

発行者 山寺地区振興会
編集 宝珠のしずく編集委員会



磐司太鼓でおむかえ

——観光案内ボランティア——

山寺中学校の生徒による観光ボランティアガイド・新しい趣向の磐司太鼓演奏は、宝珠の山に響きわたり多くの方々に感動を与えた。

『我々の山寺を自分達で案内しよう』という観光案内も第五回を重ね、その案内ぶりもすっかり板についてきた。山寺地区文化祭の一環として行なわれているが、中学生の熱い想いに山寺の躍動を感じた。

生徒達の声

○根本中堂の前で初めて磐司太鼓を演奏し、たくさんの方々に見てもらってとてもうれしかった。これから続けていきたい。

○『山寺中学校の生徒さんにガイドをしていただきありがとうございました。』と、楽に参拝する事ができました。』と、御礼の手紙をもらい、がんばったかいがあった。

地元の声

○次世代を担う子供達が自分の住むまちを知ること、元氣な山寺の創造につながると思う。

○大人達が忘れていた事を子供達の行動によって教えられている。世代間交流の必要性を感じた。

小学生と高校生との ふれあい交流

『通学合宿』

「ただいま。」

公民館の玄関に元気のいいあいさつが響きわたる。十月一日、小学六年生十三名と、高校生七名とのちよつと変わった合宿生活が始まった。

小学生といっしょに、何か楽しいことを企画したいという地元高校生ボランティアサークル「やまであら組」の願いと、小学校生活最後の思い出づくりをしたいという山寺小六年生の願いがいっしょになり、この二泊

三日の『通学合宿』が誕生した。

通学合宿の期間は、十月一日から三日までの二泊三日。日中は、小学生、高校生とも通常の学校生活を送り、公民館に「ただいま。」と帰宅する。食事のメニューづくりは小学生が中心に企画するなど、決められたプログラムに従って活動することの多い体験学習と違い、「みんなが楽しめること」だけを条件に、小学生と高校生がいっしょに知恵を出し合い計画し、協力して活動を楽しんだ。いっしょに参加した公民館の朝倉さんと山寺小の佐藤教頭は、活動に対してはあれこれ口を挟まない。

計画通りに進まないのがこの合宿のおもしろさでもある。初日の夕食はラーメンだったが、餃子とサラダを



〈山形新聞社提供〉

作っている間に麺がすっかり延びてしまった。二日目のバーベキューは、強風のため急遽場所を変えたので、薄明かりの中での闇鍋状態。

高校生たちも悪戦苦闘。小学生の漢字の宿題を手伝ったが、逆にまちがいを指摘されたり、小学生をこわがらせるために行った肝試しで、逆に自分がこわくなつて、小学生に助けられてもつたり。

日頃は小学生と高校生がいっしょに活動する機会ほとんどない。年代の違うもの同士が寝食を共にし、互いに協力しあいながらふれあつたこの通学合宿は、いい思い出としてずっと心に残るであろう。

★六年生の声

○家にいると気づかないけれど、通学合宿で学んだことは、みんなで生活していくには、協力しあわないと何もうできないという事です。
(堀川和樹)

○通学合宿では、みんなと五十六時間もずっと



と一緒にいたことになった。この通学合宿は、みんなとの友情を深められたすごい行事だなと思った。

(伊澤 諒)

○一番の思い出は、高校生の兄さんやお姉さんといっしょに料理をしたことです。みんなで力を合わせて作った餃子やおにぎりは、とてもおいしかったです。

(武田 彩花)

★以前から、山寺小の佐藤教頭とぜひやってみたくて話していた企画です。参加したみんなよりも、大人のほうが楽しかったのかも……ああ面白かった◎



あらびく

高校生ボランティア

“やまであ組”に聞く!!

発足は

平成十四年十月

メンバーは

山寺の高校生十二人

活動日(ミーティング)

毎週月曜日午後六時三十分より、

山寺公民館にて

これまでの主な活動は

・小学生とのイチゴ菓子作り

・小学六年生の宿泊学習会

・年二回ある「ワイワイボランテ

ィア県大会」への参加

・千歳の高校生ボランティアと共に

「雪の学校」開催(自然の家)

活動を通しての感想

・何かやりたい、ボランティア活

動をしたいという気持ちで集ま

った仲間なので、どの活動も積

極的に楽しくやっている。

・小学生との企画では、準備やあ

とかたづけの大変さはあるが、

みんなに喜んでもらえたことが

一番うれしい。

これからの活動について

・地域の方々にも、私達でできる

範囲でお手伝いをしていきたい

と考えているので、高校生ボラ

ンティア”をアピールしてい

たい。

・仲間を増やしたいので、高校生

に限定せず、募集していきたい。

インタビューに答えて下さったの

は、高校生ボランティア“やまであ

組”の組長・増子郁美さん、副組

長の遠藤麻衣さんでした。

目を輝かせながら一生懸命話をし

て下さり、いchnずな気持ちが伝わっ

てきました。

☆高校生ボランティア“やまであ組”

〔連絡先〕

増子郁美 Ⅷ六九五―二四六二



宝珠のしずくに寄せて

山寺郵便局の十三代目局長とし

て赴任七年になります。以来第一

号より毎年「宝珠のしずく」を読

んでおります。山寺地区の活気溢

れる内容となっておりますので、

とても興味深いです。

先日、「新春初顔合わせの集い」

での山寺中学校「二年生からの「提言」

を拝聴し深く感動いたしました。

二十年後の山寺を担ってくれた

若い人達がこんなにも故郷を愛し

ている事が察せられ、山寺地区の

発展は必ずや訪れることと信じて

おります。

山寺郵便局長 武田三千男氏

いま住んでおられる方々の生き

生きとした活動、皆さんの一生懸命

さが伝わって参ります。やまであ

天台のみち”の地図もとても参考

になりました。話題の人の布施く

にさんは布施栄先生の奥様です。

私も心を込めて作られた兎やピエ

ロのぬいぐるみを頂き、お元気で

明るい方なので、大先輩として見

習っていきたいと思ひます。

また、編集の方々のご苦労や温

かい気持ちも伝わって参りました。

ありがとうございます。

天童市 赤塚

綾氏

平成15年
(2003年)

地区ニュース

山寺小学校特認校だ！

いよいよ平成十六年度より山寺小学校の特認校がスタートする。地区振興会・学校・PTAが山寺地区の方々に理解と協力をお願いする為に、各町内会において懇談会を開催。おかげ様でこの春より施行されることとなった。心から感謝申し上げます。

観光地山寺の恵まれた自然、文化や歴史の中で学ぶことのできるすばらしさを、新年度仲間を迎え『山寺さ来てえがった。』と言われるような学校づくりに協力していかなければと思う。

特認校は今回で終わるのではなく始



まったばかりである。創立百三十周年を迎える山寺小学校を地区の皆様と共に支えていきましよう。

まちづくりへの熱い思い

山寺観光協会
門前町商店会の活動から



雪だるまこけし祭り 優秀作品

今年は、山寺観光協会や門前町商店会として山寺地区振興会等各種団体が連絡を密にし、「観光」を合言葉にしたまちづくりを進めてきた。その中で主な事例を紹介する。

地域づくり支援事業講演会

講演会を聞いた方々が、「動かなくでは！何かをしなければ！」と誰しも感じた会であったと思う。九月十日の第一回目では、『よい自然・風土がある・よい文化と学習の場がある・よい仕事の間がある』などというまちづくり総論の提案を伺い、十一月十日の第二回目では、立石寺・芭蕉

などの歴史文化財産を超えて、もう一つの山寺の魅力を地区民挙げて探し出し地域づくりを進めて欲しいという、山寺に合った具体的提案をして戴いた。地域振興に関わる全ての団体が一同に会し、地域づくりを真剣に考える時間を共有出来たのは大きな成果とを感じる。今後の活動に乞うご期待！！

山寺地区まちづくり講習会

十一月十八日、地区振興会・門前町商店会・観光協会のメンバーが集まり、各々が考える理想のまちを、より具体的な形にする為に模型を造って考えてみた。ご参加戴いた方々のアイデアが今後の地域振興に繋がるものと確信している。

他にも、雪だるまこけし祭り「かがり火芋煮会」や磐司祭・地区文化祭では地区振興会を中心とした各団体の皆さんとの連携を図りながら活動を進めて来た。まちづくりの火種が、地区民の熱い思いというエネルギーを得て燃え始めた年だった様に感じる。

「一人ひとりが出来ることから始める」そして、一人ひとりの思いが繋がれば、まちは変わるだろう。

※門前町商店会

観光協会とは別の組織で、門前町のまちづくりを主体的に考え実行していこうという会。

四寺回廊

六月十二日、さわやかなさつき晴この日「四寺回廊」と銘打って「みちのく古寺巡礼」の御朱印開眼法要が営まれた。

比叡山千日回峰行を達成なされた酒井雄哉大阿闍梨を導師に迎え、開山堂で慈覚大師に挨拶の法要。次に根本中堂で、参拝者にお加持をなされ朱印を授けられた。

四寺とは慈覚大師が開山なされ、また松尾芭蕉が訪れた寺、立石寺・瑞巖寺・中尊寺・毛越寺のことで、それぞれの寺からの僧侶および参拝者は三〇〇人を越えた。

これを縁にして宗教、文化、観光など一層の発展交流が期待される。



お加持をいただく参拝者

山寺地区振興会の活動

「もう一つの山寺」を見つけ 「元気な山寺」振興へ

少子化・高齢化、観光客の減少は山寺地区に大きな影を落としていく。これにめげず、「元気な山寺づくり」活動をリードしなければと、振興会執行部は活動に当たってきた。

平成十五年度の振興会活動の中からいくつかの活動を報告したい。

第一に、「いきいき地域づくり支援事業」の取り組みである。山寺地区では、この事業に「山寺再発見・宝探し」と銘うち、そのねらいを

「もう一つの山寺」を見つけ、「山寺地区内の各家庭で、さらに山寺地区外でも、山寺の話題のチャンネルを開き、ネットワークを広げる」

ことにおいて。その事業内容は、

*シンポジウム「山王祭を知る」

*写真カレンダー

*「もう一つの山寺」配布

*東北自然歩道「やまでら天台のみち」

*「やまでら天台のみち」ウォーキングコマ地図作成

*山寺駅構内写真パネル設置

*立谷川上流への岩の放流援助

*山寺の記録誌「宝珠のしずく」発行

*「悠久の時を越えて」山寺の四季

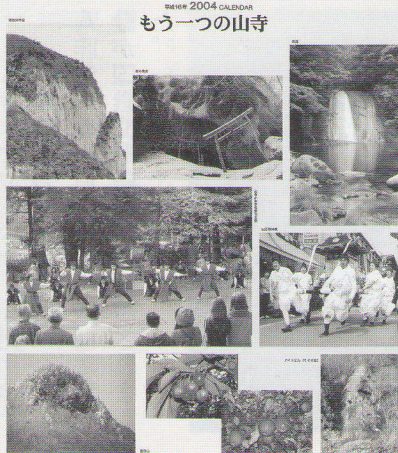
と歴史」ビデオ配布

の八つである。このように山寺にはまだほかにも活性化の種がありそれを育てていく必要がある。

第二は、「第二十七回山寺地区文化祭」が多彩な内容でにぎわったことを報告したい。課題であった若い世代の方々、山寺観光協会の方々の企画参加を得て、素晴らしい飛躍となった。

中でも山寺小中学校の児童・生徒の文化祭活動が充実・多彩になり、地区民に大きな感動を残し、山寺の新たな躍動を感じさせてくれた。

さらに、まちづくり推進委員会の方々の助力と地区民の熱意で、追分花壇に庭石を配置し、装いも新たに花壇コンクールで最優秀賞の荣誉に輝くことができた。



活気ある山寺へ 中学生の四つの提言



昨年十月、第二十七回山寺地区文化祭に山寺中学校の二年生が、総合学習の一環として、山寺地区活性化への起爆剤とも言える、すばらしい『四つの提言』を発表してくれた。

その一つは「山寺に新しい職場を作ろう。中地蔵地区に済生館規模の病院を建ててはどうか。」

その二は「荒谷地区との合併」

その三は「もっと広く山寺をアピールしよう」：インターネットにホームページを作った次の四つをメインに紹介する。

- ①安心して子供を育てられる山寺。
- ②豊かな自然に恵まれている山寺。
- ③助け合って生きる地域。
- ④すばらしい学校。

その四は「新たな特産物を創ろう」現在の山寺は、宝珠山を中心とする観光部門と果樹や野菜などの農業部門で構成されている。そこで地元で作られる農産物を使った新しいお土産はどうかと考えた。りんごの甘露を考案し、品名を「りんごのほっぺ」と決めた。

以上の事をさらに練り上げ今年の「新年顔合わせの会」で地区の方々に発表した。「りんごのほっぺ」を試食された方々は「上出来だ。」「おいしい、土産品として十分いける。」等、賞賛の声が上がった。

このように大人には到底考えられないような大胆な提言が、山寺の課題解決に役立つ日の来ることを願っている。

山寺磐司太鼓新成人を祝う

一月十二日、山形市の成人式が市総合スポーツセンターで行なわれた。その新成人を祝い、山寺民族芸能保存会員十一名の打ちならす山寺磐司太鼓が会場に響き渡った。



おらが地区

地蔵堂

当地区は戸数四十七で、近年加速的に高令化が進んできたものの、何をするにも一致団結して積極的な事にあたるよい町内会である。

以前は宮崎・中地蔵と共に「一区自治会」として一つの公民館を共有していた。昭和五十年代後半からそれぞれの町内に立派な公民館ができたので、それまで持ち回りで行ってきた祭事や財産の維持管理を地蔵堂が受け持つことになった。

年々祭事の簡素化を図っているが、進んでかわる方が減少するにつれて世話方への負担はますます重くなってきた。

地区内には、人々の目を和ませてくれる追分花壇がある。観光山寺の入り口で、色とりどりの花がお客様を喜ばせている。

花壇は、地区振興会の方々と町内有志の者が協力して手入れをしている。春から十月末までの作業は和気あいあいの中で進み、楽しみながらボランティアの一翼をになっている。これからは若い方の力をお借りして、追分を通るみなさんの心をいやし続けていきたい。

地蔵堂に温度計

昨年の夏、追分花壇のそばに温度計が国土交通省により設置されました。



長瀬の猪子踊

磐司祭で長瀬の猪子踊奉納。好評を博した。



千手院観音に鳥居

線路に隣接して建てられていた前の鳥居は、昨年の夏、何らかの原因で壊れた。幸いにも線路にかららず電車の事故を起こすこともなく奇跡的と言われ、観音様の御利益とささやかれた。

その後新しい鳥居が道路脇に建てられ、昨年十二月六日に立石寺貫主を導師に迎え、千手院町内会の方々の出席のもと盛大に落成式が行われた。この立派な鳥居は、東京の斎藤一人氏個人の寄附で建てられ、これからは観音巡礼に來られる方々を迎えてくれることでしょう。



受賞・表彰

(敬称略)

- ・文部科学大臣表彰
全国PTA活動振興功労者
布施 新一
- ・第十九回山形市スポーツ優秀選手
褒賞 布施 隼人
- ・第二十四回山形市民文化賞(夜行念仏)
石山 和夫
- ・山形市花壇コンクール
最優秀 地蔵堂花壇愛好会
- ・山形市長感謝状(住民福祉に貢献)
滝口 堪子
- ・山形市長感謝状(健康運動普及功労)
武田 誠

入賞・出場おめでとう(全国大会)

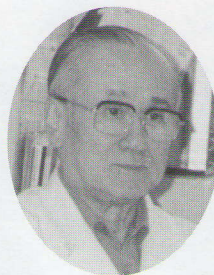
- ・全国高等学校陸上競技会 槍投優勝(鳥取)
- ・全国障害者スポーツ大会 槍投優勝(静岡)
- ・全国障害者スポーツ大会 砲丸投四位(静岡)
- ・布施 隼人
- ・全国高校総体出場 円盤投(長崎)
- ・国体「少年男子円盤」十六位(静岡)
- ・堀川 貴久
- ・全国中学校体育大会出場(北海道)
- ・遠藤 佳祐
- ・全国H・K・B卓球大会出場(兵庫)
- ・遠藤 幸奈
- ・県中体連優秀選手 遠藤 柊子

話題の人

莊 孝徳 先生

（山寺医院長）

地域医療に四十年



莊先生の山寺での医療活動は、昭和

三十八年に始まり今日に至っている。その間、実に四十年！地区民の殆どが先生に診ていただいたと言って過言ではない。だから先生は訪れる患者の家族の健康まで細やかに気遣っておられる。また校医として多くの児童、生徒の健康も見守って下さった。冬道の通勤や雪の中の往診など、ものともせず「これが私の天職」と頑張っておられる。趣味の釣りのほか持ち前の前向きの姿勢とテニス、マラソンで鍛えた体力で、毎日大勢の地区民の診療に当たられている。感謝というほかはない。

患者には笑顔で話しかけられ、座右の銘とされている「和」を診療の中で示しておられる。今後山寺の医師として生涯を貫き通す気迫が感じられた。

「感謝」「祈る健康」

おめでとう
金婚さん



武田さんご夫妻（所部）

初冬の午後に訪れました。政治さんは、お兄さんが戦死されたので家の跡を継がれました。昔は炭焼きをしていましたが、「今は時代が変わり、山寺には炭焼きが誰もいなくなってしまうたなあ」と言って残念がられていました。

妻の順子さんは天童の山口出身で見合で山寺へ嫁いできました。百二才で亡くなったおばあさんの病気の看病は三十年位続きましたが、「あたり前の事でしたから、何も辛くありませんでした」と。その功に山形市より感謝状を授与されました。

苦業を共にしてこられた武田さんご夫妻。これからも健康に留意され仲睦まじくお過ごし下さい。



武田 政治さん
順子さん ご夫妻

お誕生おめでとう

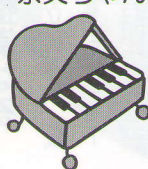
平成十五年お誕生



ゆうすけ
祐介ちゃん



なか
奈央ちゃん



すこやかな成長を!!

- | | | |
|-------|----------|-------|
| 〈千手院〉 | 後藤藤生氏長男 | 巧真さん |
| 〈馬形〉 | 高見秀也氏長女 | 奈央さん |
| | 小笠原利己氏長男 | 祐介さん |
| 〈南院〉 | 遠藤敦志氏二男 | 嶺斗さん |
| | 佐藤宏幸氏長男 | 隼士さん |
| 〈宮崎〉 | 布施幸雄氏二男 | 和規さん |
| | 原田正則氏二男 | 流似さん |
| 〈地藏堂〉 | 中嶋 充氏長男 | 虎太郎さん |

平成十五年の物語者
謹んでお悔やみ申し上げます

- | | |
|-------|-----------------|
| 〈千手院〉 | 後藤とくゑ殿・後藤 理吉殿 |
| 〈馬形〉 | 増子 幸一殿・武田 喜代殿 |
| 〈南院〉 | 後藤 勝見殿・小笠原親春殿 |
| 〈川原町〉 | 半沢ヒナ子殿・後藤 教殿 |
| | 小笠原なか江殿・岩崎 すすめ殿 |
| 〈宮崎〉 | 伊澤 とめ殿・山田 善悦殿 |
| | 菅野マサエ殿 |
| 〈中地蔵〉 | 鹿野マツエ殿・成山きよゑ殿 |
| | 斎藤はな子殿・布施 武男殿 |



山寺の文化財

姉滝、妹滝の洋画（奥山寺）

高橋源吉画 伊沢友明氏蔵

山寺を訪れてその魅力に取りつかれ、山寺を紹介して下さった人は数多い。芭蕉もそうだし、高橋源吉もその一人である。

源吉の父は「鮭」で有名な高橋由一であるが、絵画の技は父以上とも評され、山形の風景画も多く残されている。

この絵はなかなか丁寧な筆致で神秘的な空気や広がりを見事に写した作品である。

当作品は明治四十二年山形の大火にあい資金調達のために立石寺で個展を開いた時の逸品である。

やったぞ、県新人大会優勝

山寺スポ少 バレーボール部

山形県新人大会大会の一次二次をあれよあれよと勝ち進み、十一月九日に米沢工業高校で行なわれた決勝戦でみごと優勝。



感無量、喜びの気持ちで一杯!!

これもひとえに、監督、コーチ、マネージャー・保護者の方々の絶大なる御協力の賜物であり、それ以上に子供達が一丸となって勝とうという気持ちで戦ったからだと思う。

この優勝は将来、子供達の人生においてプラスになると信じてやまない。今後の子供達のさらなる飛躍に期待したい。

馬口岩（別称アイスヒル）

見事に整備なる

天下の名勝「宝珠山立石寺」、我が郷土「山寺」を一望できるビューポイントが、馬口岩の岩頭である。

昭和三十年代に当時の関係者が開発・整備し、「アイスヒル」と命名した。その後、故あって、全く放置され、山寺地区民からも忘れさられた存在になっていた。

ここ二、三年かかって、地権者の協力、山形市観光物産課の財政支援により、案内標柱、安全柵が設置され、往時に優るトレッキングコースに生まれかわった。

このコースで山寺小中学校の総合学習（写真）が行なわれた。

気軽に登って楽しんでください。



立谷川に清流を!!

「立谷川に清流を」のテーマで、山の寺子屋が中心となって活動している。この看板は雪解けをまつて設置される。



編集後記

雪のないお正月、自衛隊イラク派遣、鳥インフルエンザと話題の多い年明けでした。

編集委員に新人を迎え、新鮮な感覚で紙面を工夫しました。感想御意見をお待ちしております。

例年の通り、写真、原稿は多数の方からお寄せいただきました。お礼申し上げます。

編集委員

後藤哲夫 伊沢貞一 武田 誠
布施晶嗣 田中文字 遠藤まき子